

施策番号	0604		
施策名	かけがえのない文化財の保護，活用と伝承		
概要	文化財の調査・指定・登録等により文化財保護の機運を高めるとともに，文化財の調査や保存・活用策の提案ができる人材や，活用事業のボランティアの育成する。		
担当局・部室	文化市民局・文化芸術都市推進室	共管局・部室	
上位政策	6 文化		
施策に関する 主な分野別計画等			

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		年度	23年度	24年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	文化財保護審議会答申率(%)	-	a	100	100	100	100.0%	a	1.00
2	みやこ文化財愛護委員，文化財マネージャーの育成数(人)	-	a	97	87	90	96.7%	a	1.00
3	“京都を彩る建物や庭園”選定件数(件)	-	-	-	77	70	110.0%	a	1.00
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
			a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価 \*この評価は，毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		24年度回答						
		そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう思わ ない	そう思わ ない	有効回答 者数	評価
1	文化財が社会全体で大切にされ，地域の活性化にもつな がっている。	90	235	151	54	20	550	b
		16.4%	42.7%	27.5%	9.8%	3.6%		
2	-							-
3	-							-
4	-							-
5	-							-
		市民生活実感調査総合評価						b



3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

A	施策の目的が十分に達成されている						23 年度	A
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	a	<input type="checkbox"/> 市民の実感	b			
(重み付けの理由) 文化財の適切な保護を実施することが肝要であるため、客観指標を重視する。								
(原因分析) ・文化財保護課から京都市文化財保護審議会に対して諮問した案件は、全て指定・登録されていることから、専門的な調査が十分に行われていることが分かる。専門的意見を得ることで、指定・登録による適切な文化財の保護が可能となる。 ・文化財の公開事業や歴史的建造物保護の取組に参加できる人材の育成が進んでいる。 ・京都の財産として残したいものを市民の目線で選び、市民ぐるみで残そうとする気運の醸成が進んでいる。 ・市民の実感については、文化財による地域の活性化に対する肯定的な回答が6割近くに及び、文化財が身近に感じられている状況がうかがわれる。							年度	-

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		24年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		23年度 決算額	24年度 予算額		
1	歴史資産保存・活用	30,920	31,336	—	文化市民局
2	市指定文化財等助成事業	62,344	58,176	良い	文化市民局
3	文化財指定準備調査(条例関連実態調査)	14,803	14,961	かなり良い	文化市民局
4	文化財保護事業資金融資事業	7,221	16,433	かなり悪い	文化市民局
5	文化観光資源保護財団助成	94,194	94,194	普通	文化市民局
6	伝統行事助成	87,122	82,861	かなり良い	文化市民局
7	文化財普及啓発事業	14,206	15,731	良い	文化市民局
8	社寺等屋根工事技能者養成研修助成	1,704	1,704	かなり良い	文化市民局
9	埋蔵文化財研究所貸付金	150,262	175,262	かなり良い	文化市民局
10	みやこ文化財愛護委員、文化財マネージャーの育成	7,467	7,516	普通	文化市民局
11	文化事業基金積立	70,433	335,300	—	文化市民局
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

\*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・文化財の指定・登録を行うために必要な調査を実施しており、緊急性の高いものから指定し保護するためには、全数調査を実施し指定・登録を計画的に行う必要があるが、調査には多額の経費が掛かるため、財政状況の厳しい現状ではできるだけ多くの状況を把握し、貴重な文化財が失われることのないよう努める。 ・みやこ文化財愛護委員については、文化財保護技師や民間のボランティア団体との連携により育成事業を実施する。文化財マネージャーについては、これまでと同様に育成事業を実施する。 ・“京都を彩る建物や庭園”の選定件数を増やすことで、京都の歴史や文化を象徴する建物や庭園の維持・継承の促進を図る。
--

施策名	0604	かけがえのない文化財の保護、活用と伝承					
-----	------	---------------------	--	--	--	--	--

指標名	文化財保護審議会答申率（％）						
-----	----------------	--	--	--	--	--	--

担当課	文化財保護課		連絡先	3 6 6 － 1 4 9 8			
-----	--------	--	-----	-----------------	--	--	--

**1 指標の説明**

本市が指定、登録するに当たり適当と認められた文化財の数

**2 指標の意味**

文化財を保護し、活用していることを示す指標

**3 算出方法・出典等**

出典：事業担当課調べ

**4 数値**

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	22年度	23年度		数値	根拠	達成度
数値	100	100	増減なし	100	文化財保護審議会に諮問し、答申を得られた割合	100.0%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値						

**5 評価基準**

最新数値の目標値に対する達成度が  
a：80%以上  
b：60%以上～80%未満  
c：40%以上～60%未満  
d：20%以上～40%未満  
e：20%未満

**6 基準説明**

調査した文化財の中から保存の必要のあるものを、京都市文化財保護審議会の審議を経て指定・登録するため、諮問件数／答申件数＝100%を基準値に設定した。80%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。

**7 評価結果**

	23	24
-	a	a

**1 指標の説明**

文化財の公開事業や建造物保護の取組等に参加できる人の育成数

**2 指標の意味**

文化財にかかわる多様な人材育成を示す指標

**3 算出方法・出典等**

出典：事業担当課調べ

**4 数値**

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	22年度	23年度		数値	根拠	達成度
数値	97	87	10人減	90	当該年度育成講座等の参加者数	96.7%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値						

**5 評価基準**

最新数値の目標値に対する達成度が  
a：80%以上  
b：60%以上～80%未満  
c：40%以上～60%未満  
d：20%以上～40%未満  
e：20%未満

**6 基準説明**

育成講座の参加者数や研修講座終了者を登録するため、各講座の定員に対する参加者数の比率をもとに、基準値を設定した。80%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。

**7 評価結果**

	23	24
-	a	a

施策名	0604	かけがえのない文化財の保護，活用と伝承				
指標名	“京都を彩る建物や庭園”選定件数（件）					
担当課	文化芸術企画課		連絡先	3 6 6 － 1 4 9 8		
1 指標の説明						
市民から応募があった京都の財産として残したい建物や庭園で，審査会での要件審査を経て，所有者の同意を得られたものの件数						
2 指標の意味						
市民ぐるみで残そうという気運の盛り上がりを示す指標			3 算出方法・出典等			
			出典：事業担当課調べ			
4 数値						
	前回数値 22年度	最新数値 23年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	－	77	－	70	取組初年度（23年度）は70件，以降，平成27年度まで毎年約100件の選定を目指す（「はばたけ未来へ！京プラン」実施計画）	110.0%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値		470	27年度	16.4%	「はばたけ未来へ！京プラン」実施計画	
5 評価基準						
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：80%以上～100%未満 c：60%以上～80%未満 d：40%以上～60%未満 e：40%未満			6 基準説明			
			「はばたけ未来へ！京プラン」実施計画における目標値に対する達成率を基に基準を設定した。100%以上をa，以下20%刻みで基準を設定した			
7 評価結果						
		23	24			
	－	－	a			